丹後地域振興計画（中間案）

丹後広域振興局では、「明日の京都」ビジョンの一つである「丹後地域振興計画」を現在、策定しています。
「明日の京都」ビジョン（中間案）は、峰山総合庁舎・宮津総合庁舎の府政情報コーナーに備えているほか、京都府の HP をご覧ください。明日の京都　検索

〈中間案の概要〉 自然、文化、歴史、食、ちりめん、温泉…地域のもっている「宝」を活かした「元気な丹後」

施策の基本方向と重点施策

産業振興による丹後地域の活性化

丹後「日本海観光」プロジェクト

〈地域の魅力を結集した観光ゾーン形成〉
■こだわりの魅力創出
（地域ブランドの確立、「丹後ならでは」の体験メニューの創出、テーマ性のある資源の活用など）
■メディアなどを活用した「ふるさと丹後」の発信
■顧客ニーズに対応した接客サービスの充実
■観光を支える基盤づくり（丹後半島一周道路など）

「丹後・食の王国」プロジェクト

■丹後の強みを活かした産品の増強
（コシヒカリ、ブランド京野菜、丹後とり貝などブランド水産物等）
■丹後の特色を活かした新たな食材の開発や食関連ビジネスの創出
■観光との連携、販路開拓や PR など
■「食」を支える基盤づくり

ものづくり産業等地域産業の振興

■中小企業へのステップアップ支援
■「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設の有効活用
■丹後織物産地の強みを活かした製品づくり
■産業振興の基盤となる道路整備の推進

環境と文化の伝承

■丹後ならではの自然環境・文化を活かす
（山陰海岸ジオパーク、天橋立など）
■丹後の豊かな自然を守り育てる
（健全な森林などの育成・保全、放置竹林対策、里山保全、阿蘇海などの環境改善等）
■地域文化の伝承
（地域の行祭事や食文化などの伝承、国民文化祭を通じた文化活動の気運醸成）

府民が共に活き活きと安心に暮らせるまちづくり

人々が交流・連携する地域共生

■人権の尊重
■地域力再生・NPO との協働
■ふるさと定住（U ターンなど支援）
■地域を担う人づくり
■命の里の再生とふるさと保全活動
■より利用しやすい公共交通ネットワークの実現（KTR、バス）
■幹線道路の通年 2 車線確保など地域内の道路網の整備
■情報通信網を活用した地域ネットワークの整備支援

府民安心のまちづくり

■医師確保・救急医療など地域医療の充実
■見守り支援などの高齢者対策
■子育て支援
■河川整備・土砂災害対策

知事と府民の皆さんで「明日の京都」と、丹後の将来について熱心な意見交換を行いました。
左　府民交流会 in 丹後（9月5日　アグリセンター大宮）
右　和ぃ和ぃミーティング（9月6日　旧尾藤家住宅・与謝野町）

地域の力が丹後を魅力的に

住民の皆さんが、自分たちの地域を暮らしやすく、魅力的にしていく「地域力再生活動」を、京都府は市町村と連携して応援しています。今年度も、多くの地域団体が、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金を活用して、丹後を元気にする活動を行っています。

問 企画振興室　☎ 0772−62−4300　FAX 0772−62−5894

宮津のにぎわい創出

〈宮津キャッスルハッスル実行委員会〉
宮津城の城壁が復元された大手川で、地域のにぎわいづくりのイベントを開催。これからも大手川周辺を地域の憩いの場として活用していきます。

書道パフォーマンス

段ボール舟レース

子育てネットワークづくり

〈子育てホ～ッと座談会　北部ネット〉

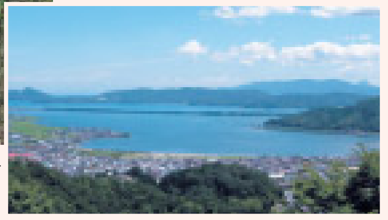
子育て中の方や子育てを支援する方などを対象とした座談会（毎月 1 ～ 2 回）を実施し、丹後一円で“子育てを楽しむ”“子育てに寄り添い支える”地域づくりを目指して活動しています。

丹後の新たな特産品づくり

〈酒々人々（しゅしゅじんじん）〉
これまで有効利用されていなかった間引きメロンや酒かすを使って、地元農家直伝の「メロンの粕（かす）漬け」を地域の子供たちや観光客も一緒になって試作し、商品化を目指しています。

地域の宝をみんなでアピール

〈大内峠保勝会〉
地域の歴史を学ぶ住民学習会や、大内峠一字観公園にある歌碑・石碑の案内板の設置を行うなど大内峠の魅力を地域の力で発信しています。



上　丹後の魅力を再認識する住民たち
右　一字観公園から見る天橋立

伊根浦の魅力を発信

〈伊根浦発信館・おちゃやのかか〉

伊根浦発信館

地域の空き施設を活用して、伊根の PR や地元産品を販売。また、観光客や地元の人たちの交流の場にもなっています。

地域戦略推進事業

たんご基盤整備・環境先進プログラム

がん検診・特定健診の受診を！

健康長寿の地域づくりを目指して、丹後保健所では、市町・関係機関と協働で、受診率向上に向けて、積極的に啓発活動を実施しています。10月3日（日）には、与謝野町の知遊館で「がんフォーラム」を開催。204 人が参加し、乳がんなどの予防・啓発を実施しました。

がんフォーラム

乳がん検診の受診を呼びかけるピンクリボンライトアップ（みやづ歴史の館）

問 丹後保健所　☎ 0772−62−4312　FAX 0772−62−4368

たんご交流・定住促進プログラム

命の里事業「里の仕事人」本格始動

「里の仕事人」は、共にはぐくむ「命の里」事業の実施地域を支援するため、府職員を直接農村集落に派遣する全国初の取り組み。本年度からスタートし、農村の再生活動に頑張っています。

地域の皆さんと宇川の清掃作業

右から、
瀬野史朗（京丹後市担当）
田淵功（宮津市担当）
瀬戸谷隆治
（与謝野町、伊根町担当）

問 農林商工部地域づくり推進室　☎ 0772−62−4316　FAX 0772−62−4333

たんご地域産業支援プログラム

丹後のお茶を PR

丹後での茶生産が本格的に始まりました。
6 月に開催した「丹後お茶まつり」や、11 月開催予定の「茶流通業者・生産者交流会」などを通じて、「お茶」が地域の皆さんに愛される特産となるよう支援します。

おいしいお茶の入れ方教室

製茶工場の説明

問 丹後農業改良普及センター
☎ 0772−62−4308　FAX 0772−62−5894

丹後ええもん工房

織物・食品・工芸など、こだわりのものづくりをしている工房の一般公開を行います。工房、酒蔵の見学や、制作体験などができます。
〈期間〉11月19日（金）～ 28日（日）
〈場所〉丹後各地のええもん工房（23工房が参加）
詳しくはホームページをご覧ください。
（http://www.silk.pref.kyoto.jp/）

手織り体験
（丹後ちりめん歴史館・与謝野町）

問 織物・機械金属振興センター
☎ 0772−62−7400　FAX 0772−62−5240

たんご新観光戦略プログラム

「丹後 PR フェア in 東京」を開催

6 月にマスコミなどを招いて、「丹後 PR フェア in 東京」を開催。キャスターの宮川俊二さんによる丹後の魅力紹介や、丹後の食材の試食、地酒の試飲などを行いました。11 月には大阪でも開催。丹後の一押し観光の紹介や地元食材を使った試食会を行い、丹後の魅力を発信します。

宮川さんが語る丹後の魅力

地元食材の試食会

問 商工労働観光室　☎ 0772−62−4304　FAX 0772−62−4333